



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 名糖産業株式会社
 コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 寛志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,440	1.5	508		2	99.4	68	77.6
2019年3月期第2四半期	10,594	0.1	128	59.5	373	42.4	307	39.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,298百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 3,710百万円 (77.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	4.08	
2019年3月期第2四半期	18.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	69,098	41,326	59.8
2019年3月期	72,107	43,962	61.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 41,326百万円 2019年3月期 43,962百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				20.00	20.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,100	1.8	420		300	56.7	690	23.2	40.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	17,265,000 株	2019年3月期	17,265,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	370,174 株	2019年3月期	369,830 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,894,991 株	2019年3月期2Q	16,895,716 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦などに起因する海外経済の減速により、製造業の景況感が冷え込み、景気の下振れへの不安が強まりました。外需の低迷に加え個人消費にも勢いがなく、企業の投資活動への影響が懸念されるようになりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、生活防衛意識による消費マインドの冷え込みが見られるなかで、市場獲得競争激化による販売促進費などの負担も重く、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、昨年9月に稼働させた愛知県瀬戸市の新チョコレート工場への第2期移転工事も終了して生産能力を増強させるとともに、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制を強化するなかで、高付加価値商品の上市ならびに精力的な営業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて1.5%減の10,440百万円となりました。営業損益につきましては、新工場の稼働による減価償却費の増加などにより、508百万円の営業損失となりました。前年同期は128百万円の営業利益でありました。また、経常利益は、投資有価証券売却益などを計上しましたが、営業利益の減少により、前年同期と比べて99.4%減の2百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期と比べて77.6%減の68百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、消費者心理の冷え込みが強まるなか、主力の菓子部門は新商品を投入して販売促進活動を展開しましたところ、売上が堅調に推移して増収となりました。チョコレート類は、「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズの商品や、パーティーサイズの商品などが売上を伸ばして増収となりました。キャンディ類は自社商品の売上が落ち込みましたが、受託商品の売上が増加したことにより前年同期並みの売上となりました。

粉末飲料部門は、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズや、「ロイヤルミルクティー」などの売上が拡大して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品の売上が減少したものの、受託商品の売上が伸びて増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーは、企業間競争の激化や天候要因の影響などにより、主力のバウムクーヘン類やゼリー類が売上を落として減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ0.3%減の9,291百万円となりました。営業損益につきましては、減価償却費や固定資産税の増加などにより226百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は326百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、一部の輸出相手国の政情・経済状況の悪化や市場競争の激化などにより、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」が売上を落として減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料用の「デキストラン」の売上が落ち込み減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ10.9%減の990百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより23百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は71百万円の営業利益でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ2.8%減の158百万円となり、営業利益は前年同期に比べ2.6%減の61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ301百万円減少し、11,115百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,006百万円減少したことや、その他に含まれる未収消費税等が832百万円減少したこと、有価証券が800百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,707百万円減少し、57,982百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落や売却などにより投資有価証券が3,416百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ3,008百万円減少し、69,098百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,203百万円増加し、7,250百万円となりました。これは、その他に含まれる未払金が1,250百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,575百万円減少し、20,521百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落などにより繰延税金負債が1,104百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ372百万円減少し、27,771百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,636百万円減少し、41,326百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が2,353百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ884百万円増加し、3,479百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、2,163百万円（前年同期は558百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、減価償却費1,165百万円および売上債権の減少額1,006百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額633百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は、443百万円（前年同期は3,758百万円の支出）となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入243百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出559百万円および有価証券及び投資有価証券の取得による支出109百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は、836百万円（前年同期は1,215百万円の収入）となりました。資金の主な減少要因は、長期借入金の返済による支出414百万円および配当金の支払額336百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らみ、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向があります。当社グループにおきましては、今後も売上規模の拡大や事業活動の効率化に努め、収益力の向上に取り組んでまいります。現時点では通期の連結業績予想につきまして、2019年5月14日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,594	2,779
受取手形及び売掛金	5,003	3,996
有価証券	0	800
商品及び製品	1,155	1,486
仕掛品	471	505
原材料及び貯蔵品	1,140	1,409
その他	1,068	172
貸倒引当金	△17	△34
流動資産合計	11,417	11,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,267	10,074
機械装置及び運搬具（純額）	7,991	9,573
その他（純額）	6,111	5,368
有形固定資産合計	24,370	25,015
無形固定資産	130	123
投資その他の資産		
投資有価証券	36,069	32,652
その他	148	218
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	36,188	32,843
固定資産合計	60,689	57,982
資産合計	72,107	69,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,309	2,595
1年内返済予定の長期借入金	832	835
未払法人税等	26	43
返品調整引当金	4	2
固定資産撤去費用引当金	210	210
その他	2,664	3,563
流動負債合計	6,047	7,250
固定負債		
長期借入金	12,834	12,416
繰延税金負債	5,918	4,813
役員退職慰労引当金	10	11
退職給付に係る負債	2,966	2,947
その他	366	331
固定負債合計	22,096	20,521
負債合計	28,144	27,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	26,569	26,300
自己株式	△706	△707
株主資本合計	27,252	26,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,683	14,329
退職給付に係る調整累計額	27	13
その他の包括利益累計額合計	16,710	14,343
純資産合計	43,962	41,326
負債純資産合計	72,107	69,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,594	10,440
売上原価	6,955	7,450
売上総利益	3,638	2,989
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,390	1,416
運送費及び保管費	730	706
給料手当及び賞与	753	741
退職給付費用	48	38
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	△3	16
減価償却費	54	60
その他	534	517
販売費及び一般管理費合計	3,510	3,498
営業利益又は営業損失(△)	128	△508
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	359	368
投資有価証券売却益	-	158
持分法による投資利益	29	31
その他	25	24
営業外収益合計	419	587
営業外費用		
支払利息	14	24
固定資産除売却損	34	32
支払手数料	3	0
試運転費用	119	-
その他	2	19
営業外費用合計	173	76
経常利益	373	2
税金等調整前四半期純利益	373	2
法人税、住民税及び事業税	30	26
法人税等調整額	35	△93
法人税等合計	65	△66
四半期純利益	307	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	307	68

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	307	68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,401	△2,353
退職給付に係る調整額	1	△13
その他の包括利益合計	3,402	△2,367
四半期包括利益	3,710	△2,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,710	△2,298

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	373	2
減価償却費	755	1,165
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13	△38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	16
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	-	△157
有形固定資産除売却損益(△は益)	34	32
受取利息及び受取配当金	△364	△372
支払利息	14	24
持分法による投資損益(△は益)	△29	△31
売上債権の増減額(△は増加)	413	1,006
たな卸資産の増減額(△は増加)	△795	△633
仕入債務の増減額(△は減少)	222	285
未収消費税等の増減額(△は増加)	△936	832
その他	△353	△386
小計	△682	1,746
利息及び配当金の受取額	365	372
利息の支払額	△14	△24
法人税等の支払額	△226	△81
法人税等の還付額	-	150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△558	2,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	-	△109
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	100	243
有形固定資産の取得による支出	△3,857	△559
その他	△0	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,758	△443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	△50
長期借入れによる収入	1,580	-
長期借入金の返済による支出	△43	△414
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△336	△336
その他	△33	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,215	△836
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,100	884
現金及び現金同等物の期首残高	4,605	2,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,504	3,479

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,320	1,111	162	10,594	—	10,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,320	1,111	162	10,594	—	10,594
セグメント利益	326	71	63	461	△333	128

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,291	990	158	10,440	—	10,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,291	990	158	10,440	—	10,440
セグメント利益又は損失(△)	△226	△23	61	△188	△320	△508

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(別紙)

名糖産業株式会社

2020年3月期第2四半期決算参考資料

(金額単位：百万円、百万円未満切捨)

1. 第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移
(連結)

	2015/9月	2016/9月	2017/9月	2018/9月	2019/9月
売上高	9,659	9,991	10,608	10,594	10,440
営業利益	△ 48	128	317	128	△ 508
経常利益	260	363	648	373	2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	335	430	504	307	68

2. 通期の実績推移と業績予想
(連結)

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期予想
売上高	21,390	22,137	23,565	23,681	24,100
営業利益	482	556	927	207	△ 420
経常利益	951	1,030	1,422	692	300
親会社株主に帰属する 当期純利益	763	877	664	560	690